

行く... 買え つぼと破く 祭司の帯

なぜ2-7元ス川? → バゼ"0"α"
なぜ"帯"? → 出28: 祭司の帯

1 主は私にこう言われた、「行って、亜麻布の帯を買い、腰に結べ。水につけてはならない。」
 2 そこで、私は主の言葉に従い、帯を買って腰に結んだ。
 3 主の言葉は、再び私に臨んで言った、
 4 「あなたが買って腰に結んでいる帯を手に取り、立つてユフラテの川へ行き、その所の岩の裂け目にこれを隠せ。」
 5 私は主が命じられたように、行って、これをユフラテの川のほとりに隠した。
 6 多くの日を経てのち、主は私に言われた、「立つて、ユフラテの川へ行き、あなたに命じて、そこに隠させた帯をその所から取ってきなさい。」
 7 そこで私はユフラテの川へ行き、地を掘って、隠した所から帯を取り出したが、その帯はそこなわれて、役に立たなくなっていた。
 8 その時、主の言葉が私に臨んだ、
 9 「主はこう仰せられる、これと同じように、私はユダの高ぶりとエルサレムの大いなる高ぶりを、破るのである。」
 10 悪しき民は私の言葉を聞くことを拒み、自分の心を情にして歩み、また他の神々に従ってこれに仕え、れを拜んでいる。彼らはこの帯のように、なんの役も立たなくなる。」
 11 と言われる、「帯が人の腰に着くように、イスラエルすべての家とユダのすべての家とを私に着かせ、こを私の民とし、名とし、誉とし、栄えとしようとし、しかし彼らは聞き従おうとしなかった。」
 12 あなたはこの言葉を彼らに語らなければならない、イスラエルの神はこう言われる、酒つぼには、みな満ちる」と。彼らはあなたに言うであろう、「酒ほに、みな酒が満ちることをわれわれが知らないことがあるのか」と。
 13 の時、あなたは彼らに言わなければならない、「主は言うられる、見よ、私はこの地に住むすべての者、ダビデの位に座す王たちと、祭司と預言者およびエルサレムに住むすべての者に酔いを満たし、エルサレムを互に打ち当てるまで、父と子をもそのようにすると、主は言われる。私は彼らをあわれまず、惜しまず、かわいそうとも思わずに滅ぼす」と。

酒つぼに満ちる

Ps: 107: 栄えを成すはよい

15 耳を傾けて聞け、高ぶってはならない、主がお語りになるからである。
 16 主がまだやみを起されないうちに、またあなたがたの足が、薄暗がりの山にたすまずかないうちに、あなたがたの神、主に栄光を帰せよ。さもないと、あなたがたが光を望んでいる間に、主はそれを暗黒に変え、それを暗やみとされるからである。
 17 もしあなたがたが聞かないならば、私の魂はひそかな所で、あなたがたの高ぶりのために悲しむ。
 18 また主の群れが、かすめられたために、私の目はいたく泣いて、涙を流すのである。
 19 王と太后とに告げよ、
 20 「あなたがたは低い座にすわりなさい。美しい冠はずで、あなたがたの頭から落ちてしまったからです。」
 21 ネゲブの町々は閉ざされて、これを開く人がない。ユダはみな捕え移される、ことごとく捕え移される。
 22 「目をあげて、北の方からくる者を見よ、あなたがたに臨む群れ、あなたがたの麗しい群れはどこにいるのか。21 彼らがあなたの親しみ慣れた人たちを、あなたがたの上に立ててかしらとするとき、あなたは何を言おうとするのか。あなたの苦しみは、子を産む女の苦しみのようでないであろうか。」
 22 あなたが心のうちに、「どうしてこのようなことが私に起ったのか」というならば、あなたの罪が重いゆえに、あなたの着物のすそはあげられ、はすかしめを受けるのだ。
 23 エチオピアびとは、その皮膚を変えることができようか。ひようはその斑点を変えることができようか。もしそれができるならば、悪に慣れたあなたがたも、善を行うことができる。
 24 私はあなたがたを散らし、野の風に吹き散らされるもみがらのようにする。
 25 主は言われる、これがあなたに授けられた定め、私が量ってあなたに与える分である。あなたが私を忘れて、偏りを頼みとしたからだ。
 26 私はまたあなたの着物のすそを顔まであげて、あなたの恥をあらわす。
 27 私はあなたの憎むべき行い、あなたの姦淫と、いななき、野の丘の上で行ったあなたのみだらな行いを見た。エルサレムよ、あなたはわざわいだ、あなたの清められるのはいつのことであろうか。」

淫行におり恥
ほすかしめ

高い音がやみに
2-7 捕え移され



罪の咎、とりはら

ひどり / 水なし

14

しでのりについてエレミヤに臨んだ主の言葉。
 「ユダは悲しみ、
 その町々の門は傾き、
 民は地に座して嘆き、
 エルサレムの叫びはあがる。
 の君たちは、しもべをつかわして水をくませず、
 彼らが井戸の所にきてても、水は見つからず、
 ひなしの器をもつて帰り、
 恥じ、かつ当惑して、その頭をおおう。
 地に雨が降らず、土が、かわいて割れたため、
 農夫は恥じて、その頭をおおう。
 野にいたる雌じかできえも子を産んで、これを捨
 草がないからである。
 野ろばは、はげ山の上に立つて、
 山犬のようにあえぎ、
 草のないために、その目はくらむ。

7主よ、われわれの罪がわれわれを訴えて
 不利な証言をしても、
 あなたの**名**のために、事をなしてください。
 われわれの背信の数は多く、
 あなたに向かつて**罪を犯しました**。
 イスラエルの望みなる主よ、
 悩みの時の救主よ、
 なぜ、あなたはこの地に住む異邦の人のようにし、
 また一夜の宿りのために立ち寄る旅びとのように
 なさねばならないのですか。
 なぜ、あなたは、うろたえている人のようにし、
 また人を救いえない勇士のように
 なさねばならないのですか。
 主よ、あなたはわれわれのうちにいらせられます。
 われわれは、**み名**によつて呼ばれている者です。
 われわれを見捨てないでください。
 この民について主はこう言われる、「彼らはこのように
 好んで、さまよひ、
 その足をとどめることをしなかつたので、
 主は彼らを喜ばず、
 いま**そのとが**を覚え、その罪を罰するのだ」。

偽預言者 さばかひもの 剣、きん、疫病 まのあにひ

14

11主は私に言われた、「この民のために恵みを折つてはな
 らない。
 12彼らが断食しても、私は彼らの呼ぶのを聞かない。燔祭
 と素祭をささげても、私はそれを受けない。かえつ
 て、つるぎと、ききん、および疫病をもつて、彼ら
 を滅ぼしてしまふ」。
 13私は言った、「ああ、主なる神よ、預言者たちはこの民
 に向かい、「あなたがたは、つるぎを見ることはない。
 ききんもこない。私はこの所に確かな平安をあなた
 がたに与える」と言っています」。
 14主は私に言われた、「**預言者らは私の名**によつて偽りの
 預言をしている。私は彼らをつかわさなかつた。また
 彼らに命じたこともなく、話したこともない。彼らは
 偽りの黙示と、役に立たない占い、および自分の心で
 つくりあげた欺きをあなたがたに預言しているのだ。
 それゆえ、私がつかわさないので、**私の名**によつて預言
 して、「つるぎとききんは、この地にこない」と言っ
 ているあの預言者について、主はこう仰せられる、こ
 の預言者らは、つるぎとききんに滅ぼされる。
 また彼らの預言を聞く民は、ききんとつるぎによつ
 て、エルサレムのちまたに投げ捨てられる。だれもこ
 れを葬る者はない。彼らとその妻、およびそのむすこ
 娘も同様である。私が彼らの悪をその上に注ぐからで
 ある」。
 17この言葉を彼らに語れ、「私の目は夜も昼も絶えず涙を
 流す。
 わが民の娘であるおとめが大きな傷と
 重い打撃によつて滅ぼされるからである。
 18私が出て畑に行くと、
 つるぎで殺された者がある。
 町にはいと、ききんで病んでいる者がある。
 預言者も祭司も共にその地にさまよつて、
 知るところがない」。



偽預言者 — さばかひもの — 24:24
 偽り — さばかひもの — 24:24

14

19 あなたはまったくユダを捨てられたのですか。
 あなたの心はシオンをきらわれるのですか。
 あなたはわれわれを撃つたのに、どうしていやしては
 くだらないのですか。
 われわれは平安を望んだが、良い事はこなかった。
 いやされる時を望んだが、かえって恐怖が来た。
 20 主よ、われわれは自分の罪と、
 先祖の²¹がとを認めています。
 われわれはあなたに罪を犯しました。
 21 名のために、われわれを捨てないでください。
 あなたの栄えあるみ位を
 はずかしめないでください。
 あなたがわれわれにお立てになった契約を覚えて、
 それを破らないでください。
 22 異邦の偽りの神々のうちに、
 雨を降らせうる者があるであろうか。
 天が自分で夕立ちを降らすことができようか。
 われわれの神、主よ、
 あなたこそ、これをなさる方ではありませんか。
 われわれの待ち望むのはあなたです。
 あなたがこれらすべてをなさるからです。

ユダを捨てないで。

15

1 主は私に言われた、「たといモーセとサムエルとが私の
 前に立っても、私の心はこの民を顧みない。彼らを私
 の前から追い出し、ここを去らせよ。
 2 もし彼らが、「われわれはどこに行けばよいのか」とあ
 なたに尋ねるならば、彼らに言いなさい、「主はこう
 仰せられる、
 疫病に定められた者は疫病に、
 つるぎに定められた者はつるぎに、
 ききんに定められた者はききんに、
 とりこに定められた者はとりこに行く」。
 3 主は仰せられる、私は四つの物をもって彼らを罰する。
 すなわち、つるぎをもって殺し、犬をもってかませ、
 空の鳥と地の獣をもって食い滅ぼさせる。
 4 またユダの王ヒゼキヤの子マナセが、エルサレムでした
 行いのゆえに、私は彼らを地のすべての国が見て恐れ
 おののくものとする。
 5 エルサレムよ、だれがあなたをあわれむであろうか。
 だれがあなたのために嘆くであろうか。
 だれがふり返って、あなたの安否を問うであろうか。
 6 主は言われる、あなたは私を捨てた。
 そしてますます退いて行く。
 それゆえ、私は手を伸べてあなたを滅ぼした。
 私をあわれむことには飽きた。
 7 私はこの地の門で、
 箕で彼らをおおぎ分けた。
 彼らとその道を離れなかつたので、
 私は彼らの子を奪い、
 わが民を滅ぼした。
 8 私は彼らの寡婦の数を
 浜べの砂よりも多くした。
 私は真昼に、滅ぼす者を連れてきて、
 若者らの母たちをせめ、
 驚きと恐れを、にわか母たちにおこした。
 9 七人の子を産んだ女は、弱り衰えて、息絶え、
 まだ昼であつたが、彼女の日は没した。
 彼女は恥じ、うろたえた。
 その残りの者は、これを敵のつるぎに渡すと
 主は言われる」。

10:7
 疫病に定められた者は疫病に、
 つるぎに定められた者はつるぎに、
 ききんに定められた者はききんに、
 とりこに定められた者はとりこに行く」。
 3 主は仰せられる、私は四つの物をもって彼らを罰する。
 すなわち、つるぎをもって殺し、犬をもつてかませ、
 空の鳥と地の獣をもつて食い滅ぼさせる。
 4 またユダの王ヒゼキヤの子マナセが、エルサレムでした
 行いのゆえに、私は彼らを地のすべての国が見て恐れ
 おののくものとする。
 5 エルサレムよ、だれがあなたをあわれむであろうか。
 だれがあなたのために嘆くであろうか。
 だれがふり返って、あなたの安否を問うであろうか。
 6 主は言われる、あなたは私を捨てた。
 そしてますます退いて行く。
 それゆえ、私は手を伸べてあなたを滅ぼした。
 私をあわれむことには飽きた。
 7 私はこの地の門で、
 箕で彼らをおおぎ分けた。
 彼らとその道を離れなかつたので、
 私は彼らの子を奪い、
 わが民を滅ぼした。
 8 私は彼らの寡婦の数を
 浜べの砂よりも多くした。
 私は真昼に、滅ぼす者を連れてきて、
 若者らの母たちをせめ、
 驚きと恐れを、にわか母たちにおこした。
 9 七人の子を産んだ女は、弱り衰えて、息絶え、
 まだ昼であつたが、彼女の日は没した。
 彼女は恥じ、うろたえた。
 その残りの者は、これを敵のつるぎに渡すと
 主は言われる」。

あわれましい
つるぎ、ききん、疫病。



主の燃えたる怒り

10 ああ、私はわざわいだ。わが母よ、あなたは、なぜ、私を産んだのか。全国の人は私と争い、私を攻める。私は人に貸したこともなく、人に借りたこともないのに、皆私をのろう。

11 主よ、もし私が彼らの幸福をあなたに祈り求めず、また敵のため、その悩みのときと、災のときに、私があなたにとりなしをしなかったのであれば、彼らののろいも、やむをえないでしょう。

12 人は鉄を、北からくる鉄や青銅を砕くことができましようか。

13 「私はあなたの富と宝を、ぶんどり物として他に与える。代価を受けることはできない。それはあなたのすべての罪によるので、領域内のいたる所にこのことが起る。

14 私はあなたの知らない地で、あなたの敵に仕えさせる。私の怒りによって火は点じられ、いつまでも燃え続けるからである」。

エレミヤの系図

エレミヤを救出

15 主よ、あなたは知っておられます。私を覚え、私を顧みてください。私を迫害する者に、あだを返し、あなたの寛容によって、私を取り去らないでください。私があなたのために、はずかしめを受けるのを知ってください。16 私はみ言葉を与えられて、それを食べました。み言葉は、私に喜びとなり、心の楽しみとなりました。万軍の神、主よ、私は、あなたの名をもってとなえられている者です。

17 私は笑いさざめく人のつどいにすわることなく、また喜ぶことをせず、ただひとりですわっていました。あなたの手が私の上であり、あなたが憤りをもって私を満たされたからです。18 どうして私の痛みは止まらず、傷は重くて、なおらないのですか。あなたは私にとって、水がなくて人を欺く谷川のようになられるのですか。

19 それゆえ主はこう仰せられる、「もしあなたが帰つてくるならば、もとのようにして、私の前に立たせよう。もしあなたが、つまらないことを言うのをやめて、貴重なことを言うならば、私の口のようになる。彼らはあなたの所に帰ってくる。しかしあなたが彼らの所に帰るのではない。20 私はあなたをこの民の前に、堅固な青銅の城壁にする。彼らがあなたを攻めても、あなたに勝つことはできない。私があなたと共にいて、あなたを助け、あなたを救うからであると、主は言われる。21 私はあなたを悪人の手から救い、無慈悲な人の手からあがなう」。



15:3 19:7

- 1 主の言葉はまた私に臨んだ、
- 2 「あなたはこの所で妻をめとつてはならない。またむすこ娘を持つてはならない。
- 3 この所で生れるむすこ娘と、この地でこれを産む母たちと、これを生む父たちについて主はこう言われる、
- 4 彼らは死の病にかかつて死に、哀悼する者もなく、埋葬する者もなく、地のおもてに、糞土のようになる。またつるぎと、ききんに滅ぼされて、その死体は空の鳥と地の獣の食い物となる。
- 5 主はこう言われる、喪のある家に、はいつてはならない。また行つて、それを悲しみ嘆いてはならない。私がこの民から私の平安と、いつくしみと、あわれみとを取り去つたからであると、主は言われる。
- 6 大いなる者も小さき者も、この地に死ぬ。彼らは葬られず、また彼らのために悲しむ者もなく、自分の身を傷つける者もなく、髪をそる者もない。
- 7 悲しむ者のためにパンをさいて、死者のためにこれを慰める者はなく、また父あるいは母のために慰めの杯をこれに与えて飲ませる者もない。
- 8 またあなたは宴会をする家にはいつて、人々と共にすわつて食い飲みしてはならない。

あわれみ
788. 23h

19:24-28

- 9 万軍の主、イスラエルの神はこう言われる、見よ、あなたの目の前で、あなたのなおこの世にいる間に、私は喜びの声と楽しみ声、花婿の声と花嫁の声をこの所に絶やしてしまふ。
- 10 あなたがこのすべての言葉をこの民に告げるとき、彼らがあなたに尋ねて、「主がわれわれにこの大きな災を宣告されるのはどうしてですか。われわれにどんな悪い所があるのですか。われわれの神、主にそむいて、われわれが犯した罪とはなんですか」と言うならば、
- 11 あなたは彼らに答えなければならぬ、「主は仰せられる、それはあなたがたの先祖が私を捨てて他の神々に従い、これに仕え、これを拜し、また私を捨て、私の律法を守らなかつたからである。
- 12 あなたがたは、あなたがたの先祖よりも、いつそう悪いことをした。見よ、あなたがたはおの自分の悪い強情な心に従い、私に聞き従うことはしない。
- 13 それゆえ、私はあなたがたをこの地より追い出し、あなたがたも、あなたがたの先祖も知らない地に行かせる。その所であなたがたは昼夜、ほかの神々に仕えるようになる。これは私があなたがたにあわれみを示さないからである」と。

主を捨てて
神々に仕える



民を北国から救出、
主の名を知り。

主の燃えぬ怒り

16

14 主は言われる、それゆえ、見よ、こののち「イスラエルの民をエジプトの地から導き出した主は生きておられる」とは言わないで、

15 「イスラエルの民を北の国と、そのすべて追いやられた国々から導き出した主は生きておられる」という日がくる。私が彼らを、その先祖に与えた彼らの地に導きかえすからである。

16 主は言われる、見よ、私は多くの漁夫を呼んできて、彼らをすなどらせ、また、そののち多くの獵師を呼んできて、もろもろの山、もろもろの丘、および岩の裂け目から彼らをかり出させる。

17 私の目は彼らのすべての道を見ているからである。みな私に隠れてはいない。またその悪は私の目に隠れることはない。

18 私はその悪とその罪の報いを二倍にする。彼らがその忌むべき偶像の死体をもって、私の地を汚し、その憎むべきものをもって、私の嗣業を満たしたからである」。

19 主、わが力、わが城、
悩みの時の、のがれ場よ、
万国の民は地の果から
あなたのもとにきて申します、

「われわれの先祖が受け嗣いだのは、
ただ偽りと、役に立たないつまらない事ばかりです。
20 人が自分で神々を造ることができましようか。
そういうものは神ではありません」。

21 「それゆえ、見よ、私は彼らに知らせよう。すなわち、
この際私の力と、私の勢いとを知らせよう。彼らは私の名が、主であることを知るようになる」。

17

15:12-17

1 「ユダの罪は、鉄の筆、金剛石のとがりをもってしるされ、彼らの心の碑と、祭壇の角に彫りつけられている。

2 彼らの子供たちは青木の下と、高い丘の上、野の山の上にある祭壇とアシラのことを覚えている。

3 私はあなたの富とすべての宝とを、あなたの全領域の内
で犯した罪の代価として、ぶんどり物とならせる。

4 私があなたに与えた嗣業からあなたは手をはなすようになる。また私は、あなたの知らない地で、あなたの敵に仕えさせる。私の怒りによって、火は点じられ、いつまでも燃え続けるからである」。



エレミヤの祈り

哀の日

11 主よ、私をいやしてください、
 そうすれば、私はいえます。
 私をお救いください、
 そうすれば、私は救われます。
 あなたは私のほめたたえる者だからです。
 彼らは私に言います、
 「主の言葉はどこにあるのか。
 今、それを出して見せよ」と。
 悪をつかわされるようにとは、
 私はたつて求めませんでした。
 また**災の日**を願わなかったのを、
 あなたはごぞんじです。
 私のくちびるから出たことは、
 み前にあります。
 どうか、私を恐れさせないでください。
 災のときに、あなたは私ののがれ場です。
 私を攻め悩ます者はずかしめてください。
 しかし私をはずかしめないでください。
 彼らを恐れさせてください。
 しかし私を恐れさせないでください。
 災の日を彼らにきたらせ、
 滅びを倍にして彼らを滅ぼしてください。

哀の日 - 安息日

実報

悲しみの心配りし

生けしめと源を捨てて

17 5主はこう言われる、「おおよそ人を頼みとし肉なる者を
 自分の腕とし、
 その心が主を離れている人は、のろわれる。
 6 彼は荒野に育つ小さい木のように、
 何も良いことの来るのを見ない。
 荒野の、干上がった所に住み、
 人の住まない塩地にいる。
 おおよそ主にたより、
 主を頼みとする人はさいわいである。
 彼は水のほとりに植えた木のように、
 その根を川にのぼし、
 暑さにあつても恐れることはない。
 その葉は常に青く、
 ひでりの年にも憂えることなく、
 絶えず実を結ぶ」。
 心はよろずの物よりも偽るもので、
 はなはだしく悪に染まっている。
 だがこれを、よく知ることができようか。
 「主である私は心を探り、思を試みる。
 おおの、その道にしたがい、
 その行の末によつて報いをするためである」。
 しや自分が産んだのではない卵を抱くように、
 不正な財産を得る者がある。
 その人は一生の半ばにそれから離れて、
 その終りには愚かな者となる。
 12 初めから高くあげられた栄えあるみ座は、
 われわれの聖所のある所である。
 13 またイスラエルの望みである主よ、
 あなたを捨ててはみな恥をかき、
 あなたを離れる者は土に名をしるされます。
 それは生ける水の源である主を捨てたからです。

詩1:2

悲しみの心配りし

安息日を聖別しよ

供祭司、レビ26:2

17 19 主は私にこう言われた、「行って、ユダの王たちの出入
 りするベニヤミンの門、およびエルサレムのすべての
 門に立つて、
 20 言いなさい、「これらの門からはいるユダの王たち、お
 よびユダのすべての民とエルサレムに住むすべての者
 よ、主の言葉を聞きなさい。
 21 主はこう言われる、命が惜しいならば気をつけるがよ
 い。安息日に荷をたすさえ、またはそれを持ってエル
 サレムの門にはいつてはならない。
 また安息日あなたがたの家から荷を運び出してはなら
 ない。なんのわざもしてはならない。私があなたが
 たの先祖に命じたように安息日を聖別して守りな
 さい。
 しかし彼らは従わず耳を傾けず、聞くことも、戒めをう
 けることも強情に拒んだ。
 主は言われる、もしあなたがたが私に聞き従い、安息日
 に荷をたすさえてこの町の門にはいらず、安息日を
 聖別して、なんのわざもしないならば、
 タビデの位に座する王たち、つかさたち、ユダの人々、
 エルサレムに住む者は、車と馬に乗つてこの町の門か
 らはいることができる。そしてこの町には長く人が住
 むようになる。
 また人々はユダの町々やエルサレムの周囲、ベニヤミン
 の地、平地と山地およびネゲブから来て燔祭、犠牲、
 素祭、乳香、感謝祭をたすさえて主の家にはいる。
 しかし、もしあなたがたが私に聞き従わないで、安息日
 を聖別して守ることをせず、安息日に荷をたすさえて
 エルサレムの門にはいるならば、私は火をその門の中
 に燃やして、エルサレムのもろもろの宮殿を焼き滅ぼ
 す。その火は消えることがない」。

聖所を荷売家にすし - 主の命を語り
 → 安息日を守り 聖所を恐れし



- 1 主からエレミヤに臨んだ言葉。
- 2 「立って、陶器師の家に下って行きなさい。その所で私はあなたに私の言葉を聞かせよう。」
- 3 私は陶器師の家へ下って行った。見ると彼は、ろくろで仕事をしていたが、
- 4 粘土で造っていた器が、その人の手の中で仕損じたので、彼は自分の意のままに、それをもってほかの器を造った。
- 5 その時、主の言葉が私に臨んだ、
- 6 「主は仰せられる、イスラエルの家よ、この陶器師がしたように、私もあなたがたにできないのだろうか。イスラエルの家よ、陶器師の手に粘土があるように、あなたがたは私の手のうちにある。

- 7 ある時には、私が民または国を抜く、破る、滅ぼすということがあるが、
- 8 もし私の言った国がその悪を離れるならば、私はこれに災を下そうとしたことを思いかえす。
- 9 またある時には、私が民または国を建て、植えるということがあるが、
- 10 もしその国が私の目に悪と見えることを行い、私の声に聞き従わないなら、私はこれに幸を与えようとしたことを思いかえす。
- 11 それゆえ、ユダの人々とエルサレムに住む者に言いなさい、「主はこう仰せられる、見よ、私はあなたがたに災を下そうと工夫し、あなたがたを攻める計りごとを立てている。あなたがたはおのそのおの悪しき道を離れ、その道と行いを改めなさい」と。

悪者の計りごと

- 12 しかし彼らは言う、「それはむだです。われわれは自分の凶とろに従い、おのおのその悪い強情な心にしたがって行動します」と。

- 13 それゆえ主はこう言われる、異邦の民のうちのある者に尋ねてみよ、このような事を聞いた者があろうか。おとめイスラエルは恐ろしい事をした。
- 14 レバノンの雪が、どうしてシリオンの岩を離れようか。山の水、冷たい川の流れが、どうしてかわいてしまおうか。それなのにわが民は私を忘れて、偽りの神々に香をたいている。
- 15 彼らはその道、古い道につままず、また小道に入り、大路からはなれた。自分分の地を荒れすたれさせて、いつまでも人に舌打ちされるものとした。そこを通る人はみな身震いして、首を振る。
- 17 私は東風のように、彼らとその敵の前に散らす。その滅びの日には、私は彼らに背を向け、顔を向けない。」

偶像と神を滅びよ
おとめイスラエルは...

- 18 彼らは言った、「さあ、計略をめぐらして、エレミヤを倒そう。祭司には律法があり、知恵ある者には計りごとがあり、預言者には言葉があつて、これらのものが滅びてしまうことはない。さあ、われわれは舌をもって彼を撃とう。彼のすべての言葉に、心を留めないことにしよう」。

おのそのおの

- 19 主よ、どうぞ私にみ心を留め、私の訴えをお聞きください。
- 20 悪をもつて善に報いるべきでしようか。しかもなお彼らは私の命を取ろうとして穴を掘りました。
- 21 私があなただの前に立つて、彼らのことを良く言い、あなたの憤りを止めようとしたのを覚えてください。
- 22 それゆえ、彼らの子どもたちをききんに渡し、彼らをつるぎの刃に渡してください。
- 23 彼らの妻は子を失い、また寡婦となり、男は疫病にかかつて死に、若い者は、戦争でつるぎに殺されますように。
- 24 あなたが敵をにわかにならに臨ませられるとき、彼らの家から叫び声が聞えますように。彼らは穴を掘って、私を捕えようとし、わなをつくって、私の足を捕えようとしたからです。
- 25 主よ、あなたは彼らが私を殺すためにめぐらしている計略を皆ごぞんじです。その悪をゆるすことなく、その罪をあなたの前から消し去らないでください。彼らをあなたの前に倒れさせてください。あなたのお怒りになる時に彼らを罰してください。

エレミヤが穴に
おのそのおの vs 預言者



1 主はこう言われる、**行って、陶器師のびんを買い、民**
 の長老と年長の祭司のうちの数人を伴って、
 2 瀬戸かけの門の入口にあるベンヒンノムの谷へ行き、そ
 の所で、私があなたに語る言葉をのべて、
 3 言いなさい、「ユダの王たち、およびエルサレムに住む
 者よ、**主の言葉を聞きなさい。**万軍の主、イスラエルの
 神はこう仰せられる、見よ、私は災をこの所に下
 す。おおよそ、その災のことを聞くものの耳は両方も
 も鳴る。
 4 彼らが私を捨て、この所を汚し、この所で、自分も先祖
 たちもユダの王たちも知らなかった他の神々に香をた
 き、かつ罪のない者の血を、この所に満たしたからで
 ある。
 5 また彼らはバアルのために高き所を築き、火をもって
 自分の子どもたちを焼き、燔祭としてバアルにささげ
 た。これは私の命じたことではなく、定めたことでも
 なく、また思いもしなかったことである。
 6 主は言われる、それゆえ、見よ、この所をトベテまたは
 ベンヒンノムの谷と呼ぶな**い**で、**唐殺の谷と呼ぶ日**が
 くる。
 7 また私はこの所でユダとエルサレムの**計りごと**を打ち破
 り、つらぎをもつて、彼ら**を**その敵の前と、そのいの
 ちを**求める**者の手に倒れさせ、またその死体を空の鳥
 と地の獣の食い物とし、
 8 かつ、この町を荒れすたれさせて、人に舌打ちされるも
 のとする。そこを通る人は皆そのもろもろの災を見て
 身震いし、舌打ちする。
 9 また彼ら**が**その敵と**その**命を**求める**者とに囲まれて苦し
 み悩む時、私は彼らに自分のむすこの肉、娘の肉を食
 べさせる。彼らはまた互にその友の肉を食べるようにな
 なる」。
 10 そこで、あなたは、一緒に行く人々の目の前で、そのび
 んを**破**き、
 11 そして彼らに言いなさい、「万軍の主はこう仰せられ
 る、陶器師の器をひとたび破くならば、もはやもとの
 ようにすることはできない。このように私はこの民と
 この町とを破く。人々はほかに**狎るべき場所**がないた
 めに、トベテに**狎る**であろう。
 12 主は仰せられる、私はこの所と、ここに住む者と共にこの
 ようにし、この町をトベテのようにする。
 13 エルサレムの家とユダの王たちの家、すなわち彼らがそ
 の屋上で天の衆群に香をたき、ほかの神々に酒を注い
 だ家は、皆トベテの所のように汚される」。
 14 エレミヤは主が彼をつかわして預言させられたトベテか
 ら帰ってきて、主の家の庭に立ち、すべての民に言っ
 た、
 15 「万軍の主、イスラエルの神はこう仰せられる、見よ、
 私は、この町と**その**すべての村々に、私の言ったもろ
 もろの災を下す。彼らが**強情**で、私の言葉に聞き従お
 うとしないからである」。

Le 26:29
 申 28:53
 28:37
 15:3
 28:26

行って... 買え
 びんを破く
 陶器師のびん
 唐殺の谷
 唐殺の谷

エレミヤ書南側
 7:31-32 ベンヒンノムの谷、トベテ
 モレクにさす
 子エヤ
 ↓
 唐殺の谷、ゲハト
 ↓
 谷、子、ヒノム
 geben hinnom
 gehinnom
 ↓
 ゲハト

